

第60回記念 近畿総合バスケットボール選手権大会

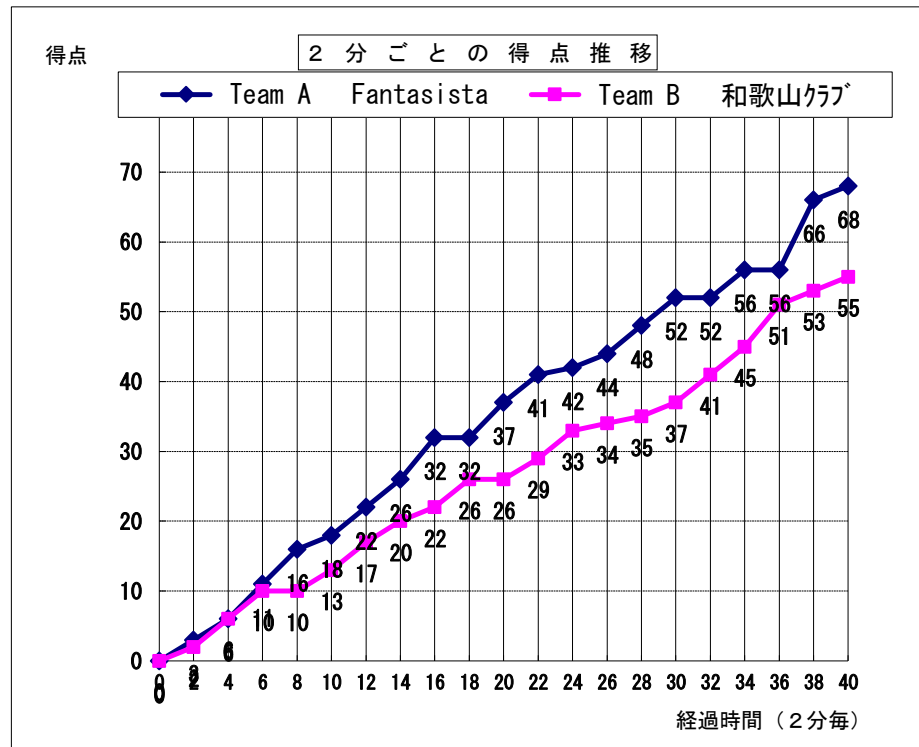
男子 決勝

試合日	2013年10月27日
開始時間	14:30
会場	大阪市中央体育館
コート	Aコート
試合順	4 試合目

Team A		Team B
Fantasia	68	和歌山クラブ 55
大阪2位		和歌山1位

Team A Fantasia		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
1		淵上 悠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
2	◎	池原 慶紀	14	0	1	4	7	2	3	3	1	1	2	2	1	2	0	21:41
3		山本 和樹	18	2	4	4	5	4	4	1	4	6	10	1	1	0	1	30:00
6		井上 拓己	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		島津 一大	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	10:16
8		森脇 弘司	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	◎	源中 啓祐	7	0	1	2	10	3	4	4	1	3	4	0	1	0	0	30:15
11	◎	伊藤 裕基	8	2	2	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	13:12
12		伊藤 慎弥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		松本 真治	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	◎	Remy Boswel	15	0	2	6	24	3	4	4	3	11	14	3	2	2	1	36:48
16		安里 匡喜	4	0	1	2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	25:20
21		東 翔太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
23	◎	山田 崇文	2	0	0	0	3	2	2	1	1	4	5	1	4	0	0	32:28
Team / Coach:		吉田 勇人	0							0	1	2	3	3				
合計			68	4	12	19	56	14	17	16	11	28	39	12	9	6	2	200:00
RATE				33.3%		36.2%		82.4%										

Team B 和歌山クラブ		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	◎	知念 恭平	10	0	3	3	8	4	6	3	1	4	5	1	1	3	1	40:00
5	◎	劉 瑾	18	0	0	8	19	2	3	3	2	5	7	4	1	1	2	37:45
6	◎	宮村 悠	14	0	1	7	17	0	2	4	2	4	6	1	0	1	2	32:02
7		中岡 佑太	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5:18
8		平 晃知	1	0	1	0	0	1	2	1	1	1	2	0	0	0	0	4:55
9	◎	柳本 博紀	2	0	0	1	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	11:09
10		三井 峻輔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		宮崎 潤	5	1	4	1	2	0	0	1	1	2	3	0	0	0	0	28:51
12		高木 智也	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4:28
13	◎	井上 卓哉	3	0	2	1	4	1	2	1	2	2	4	2	2	2	0	35:32
14		大黒 友暉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		峯尾 守	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:		垣内 信明	0							0	1	1	2	2				
合計			55	1	12	22	55	8	15	15	10	20	30	10	4	7	5	200:00
RATE				8.3%		40.0%		53.3%										



CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA	17:18	33:22 35:45				
TeamB	8:13	37:09 37:57				

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

両チームマンツーマンでスタート。和歌山#5のインサイドを中心にオフェンスを展開するが、思うように得点が取れない。対するFantasiaは#15を中心にオフェンスを展開し得点。また、ファーストブレイクも出始め18-10で8点のリードを奪う。2Q、Fantasiaのハーフコートのオフェンスが機能し、リズムを掴む。また、ディフェンスも頑張り、少しずつリードを広げる。リードを許したくない和歌山は、単調な1on1になり、シュートが決まらない。また、そのオフェンスリバウンドを相手に取られ、ブレイクを許してしまう。前半終了間際、Fantasia#3の3pが入り、11点差でFantasiaがリードする。

後半、出だしからFantasiaが連続4得点を奪い、更にリードを広げようとしたが和歌山#4の1on1で応戦し、リードを許さない。その後、両チーム硬直状態が続く。

4Q、1分も経たないうちに、和歌山#5が連続4得点流れが少しずつ変わるかと思われたが、Fantasiaはその流れをハーフコートの落ち着いたオフェンスで得点リズムを奪い返した。その後、和歌山#4の絶妙なダブルワークからの1on1でファールを誘い、また、フリースローなどで得点。点差を9点とし一桁にする。点差を広げたいFantasiaは和歌山のターンオーバーから更に得点。その後、24秒を有意義に活用し13点差で優勝を勝ち取った。

戦評		石司 雅実	
主審	黒岡 和哲	副審	塚本 圭右
副審	堂國 和昭		